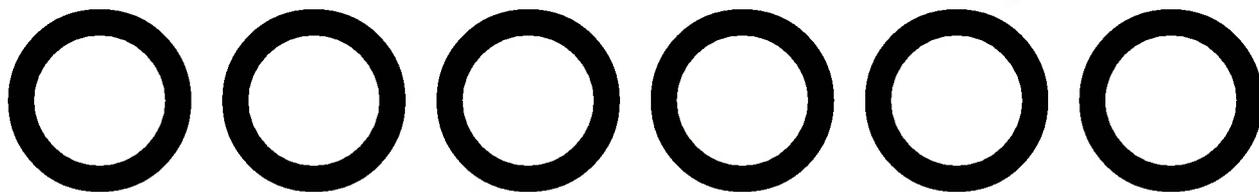


東区版



浜松市 区版避難行動計画

【この冊子でやって欲しい3つのこと】

1 避難場所を決める

①「1. 災害から身を守る」を読む

P1~P12

②家族で避難場所を考え、折込の「防災マップ」の地図やメモ欄に記入する

避難経路の決め方はP21へ

2 防災マップを目の付きやすい所に貼る

「防災マップ」に避難所などを書き込んだら、毎日目にする災害時も安全な所に貼ってこよう

3 My 防災カードをつくる

「防災カード」に、自分の名前、緊急連絡先、避難所などを記入し、かばんや財布などに入れて常に携帯する（家族みんながそれぞれ携帯しよう！）

折込の「防災カード」へ

【東区の人口と気象】

人口と世帯数 約 人(約 世帯)
 高齢化率 約 %(以上平成 23 年 10 月現在)
 年平均気温 °C
 降水量 約 mm
 年平均風速 約 m/S

これまで東区で発生した主な災害

地震

- 〇〇〇〇年 〇〇地震(推定 M〇〇~□□)
 - 〇〇〇〇年 〇〇地震(推定 M〇〇~□□)
 - 〇〇〇〇年 〇〇地震(推定 M〇〇~□□)
 - 〇〇〇〇年 〇〇地震(推定 M〇〇~□□)
- 東南海地震では、□□□□□□□□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□

地震が起こったら…P 3 →

風水害

- 〇〇〇〇年 〇〇川堤決壊
- 〇〇〇〇年 〇〇川洪水
- 〇〇〇〇年 〇〇川洪水
- 〇〇〇〇年 〇〇川堤決壊
- 〇〇〇〇年 〇〇川洪水
- 〇〇〇〇年 〇〇川洪水
- 〇〇〇〇年 大雨
- 〇〇〇〇年 台風

災害写真等

災害写真等

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

風水害が起こったら…P 7 →



災害時の避難行動

地震

東海地震が発生した場合、東区では震度6弱～6強の揺れ予想されています。
地震による被害想定は次のページへ

地震発生後の避難方法

緊急地震速報を聞いたら

このように行動してください

地震発生

※地震発生後、絶対に避難所に行く必要はありません。
自宅付近の安全が確認できれば自宅に待機しましょう。

※この避難の流れは、
本策定会議を通じて
まとめていきます

まず自分の身を守る

YES・NOであなたのとるべき行動を確認してください

□チェック1
今いる場所は
崖崩れや津波による浸水の恐れがある

YES

近くの安全な場所へすぐ避難

NO

安全を確認後、自宅へ

※避難地へ必ずしも向かう必要
は無く、近くの安全な広場や空
地を普段から確認しておこう

チェック2
□自宅が壊れて住めない状態である
□余震などで自宅が倒壊しそうである

YES

避難地へ

NO

□チェック3
自宅に火災が迫っている

YES

避難地に
開設される
避難所で生活

広域避難地へ

火災など一次避難地に
危険が迫っている！

自宅に待機

避難地が分からない人…P11へ

東海地震の情報を聞いたら

このように行動してください

東海地震に関連する調査情報



東海地震注意情報



東海地震予知情報



東海地震の発生後はこちら行動しよう

地震発生 1~2分 3分



時間経過ごとの行動

こんな時どうする

1. 屋内にいる

家の中
簡単な説明文

集合住宅やアパート

エレベーターの中



デパート・スーパー

ビル・オフィス

地下街

2. 屋外にいる

路上

電車やバスなどの車内

車の運転中

住宅街

繁華街

風水害

激しい雨の時、台風の際は水害に警戒を！

自分が住んでいる場所に危険が迫ったら、避難情報を待たずに避難しよう！
降雨の状況や河川の水位上昇の状況から、自分が住んでいる場所の危険を判断しましょう。

避難時の注意点

時間がある場合

近所の人と一緒に避難所へ

時間がない場合 避難所が遠い場合

冠水が始まっている状況や雨の激しい時、強風時は外に出るのは危険！

天竜川の氾濫の場合 ⇒ 近くの頑丈な高い建物の2階以上に避難
中小河川の氾濫の場合 ⇒ 自宅の2階以上に避難

暴風・竜巻などの時は・・・

避難する前に連絡を！



動きやすい服装で避難



車は控えて歩いて避難



浸水箇所を歩行する時は

たとえ10cmの浸水でも足元が見えず危険！

浅くても注意

足元に注意

地下道に注意！

危険な場所には近づかないで！ 増水した河川は大変危険！
危険な場所に近づかず、自宅で賢く水位情報を入手しよう

静岡県土木総合防災情報「サイポスレーダー」

東区で水位が分かる場所を紹介

天竜川(中ノ町河川公園、天竜川橋右岸)

馬込川(半田橋)、芳川(新松下橋)

安間川(安間)

河川の水位情報

河川名	観測所	水位 (m)		
		氾濫注意水位	避難判断水位	氾濫危険水位
天竜川	中ノ町	1.60	3.40	3.70
安間川	安間	2.30	2.40	2.83
芳川	新松下橋	2.60	2.80	3.30
馬込川	新橋	3.10	—	—

平常時の河川の様子

30分ごとの水位データ

現在の河川の様子

雨量の情報 (時間雨量、累積雨量など)

雨の降り方と雨量（1時間）の目安

停電時は携帯ラジオなどで情報収集を
河川の近くの方は、大雨となる前が避難のタイミング

おおよその1時間雨量	雨の降り方のイメージ	
5～10ミリ	イラスト	雨がトタンを打つ音が聞こえ、あちこちに水たまりができる
10～20ミリ	イラスト	雨音で話がよく聞き取れない。一面に水たまりができる
20～30ミリ	イラスト	土砂降りですぐ側溝があふれ、小さな川の氾濫が始まる
30ミリ以上	イラスト	バケツをひっくり返したような激しい雨。崖崩れなどが起きやすい

避難情報が入手できる場合

避難情報はあくまで参考情報として
危険を感じたら自分の判断で避難を！

天竜川の近く、安間川、馬込川の近くにお住まいの方
低い土地に住んでいる方は特に気をつけて情報を聞いてください。

情報	状況	このように行動してください	
		要援護者など、避難に時間が必要な人	それ以外の人
事前情報	浜松市南部に大雨警報、洪水警報が発表された	家族との連絡、非常用持ち出し品の準備を始める	情報に引き続き注意
避難準備情報			
避難勧告			
避難指示			

危険

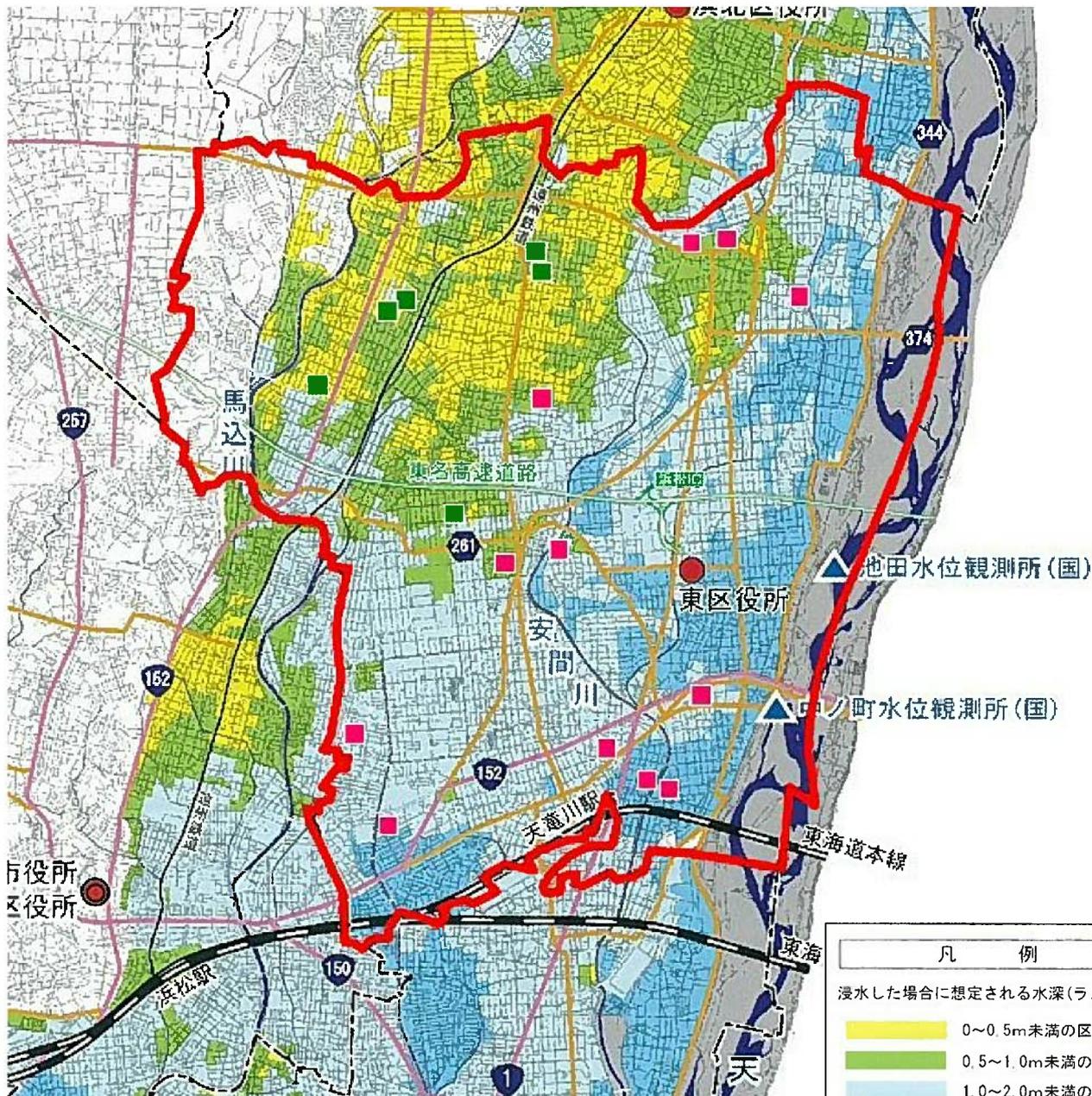
冠水が始まってから避難や外出すると危険です。
小河川のはん濫時は安全を確認した上で自宅の2階に待機します。

避難情報とは

避難情報	意味
避難準備情報	・河川はん濫の情報への注意喚起を促し、避難のための準備を呼びかける情報 ・避難に時間のかかる要援護者などは避難を呼びかける情報
避難勧告	・河川がはん濫する危険のある水位に達する恐れがあることを知らせ、避難を促す情報
避難指示	・河川のはん濫が目前に迫った時や堤防が決壊した時に出され、すみやかな避難を呼びかける情報

天竜川の氾濫による被害想定

□□□□□□□□□□□□□□



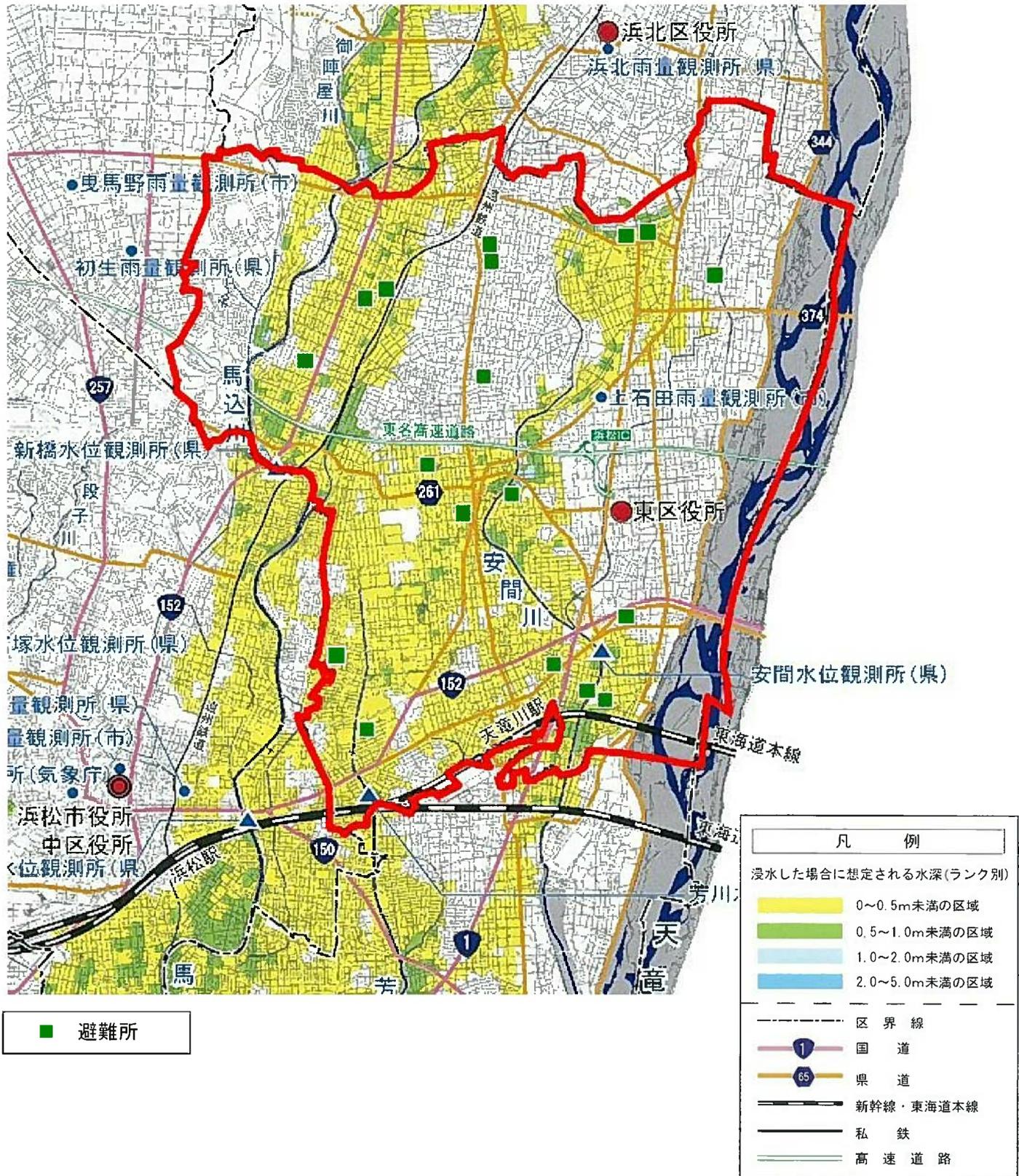
- : 避難所
- : 洪水時緊急避難施設

注意：0～0.5m未満の区域内にある**避難所**は浸水する（0.5m未満）場所にあります。

注意：**洪水時緊急避難施設**は避難が遅れた人が緊急時に利用できる施設です。低い階は浸水しますので2階以上に避難してください。

凡 例	
浸水した場合に想定される水深(ランク別)	
	0～0.5m未満の区域
	0.5～1.0m未満の区域
	1.0～2.0m未満の区域
	2.0～5.0m未満の区域
	区 界 線
1	国 道
65	県 道
	新幹線・東海道本線
	私 鉄
	高 速 道 路

安間川・馬込川の氾濫による被害想定

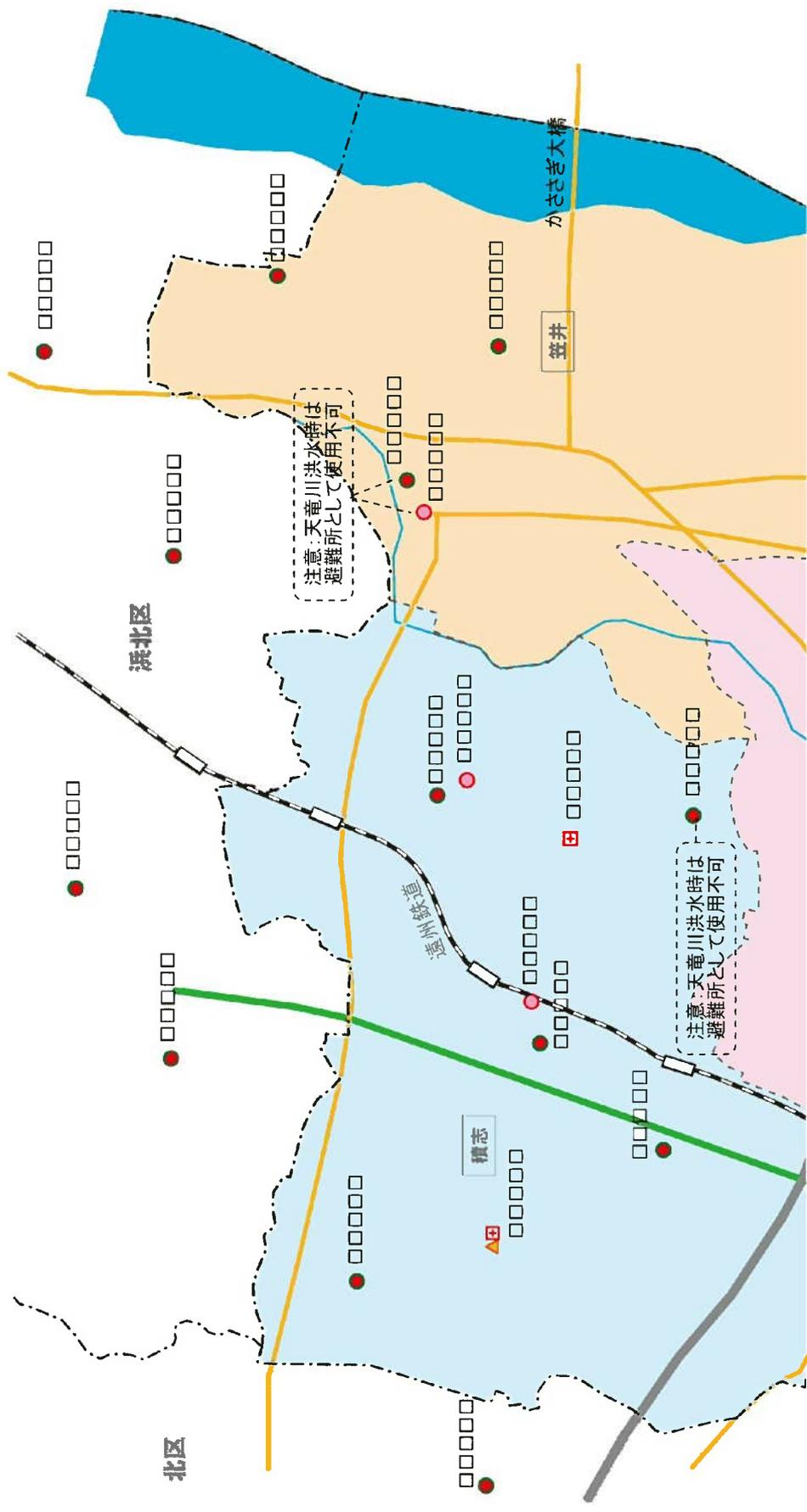


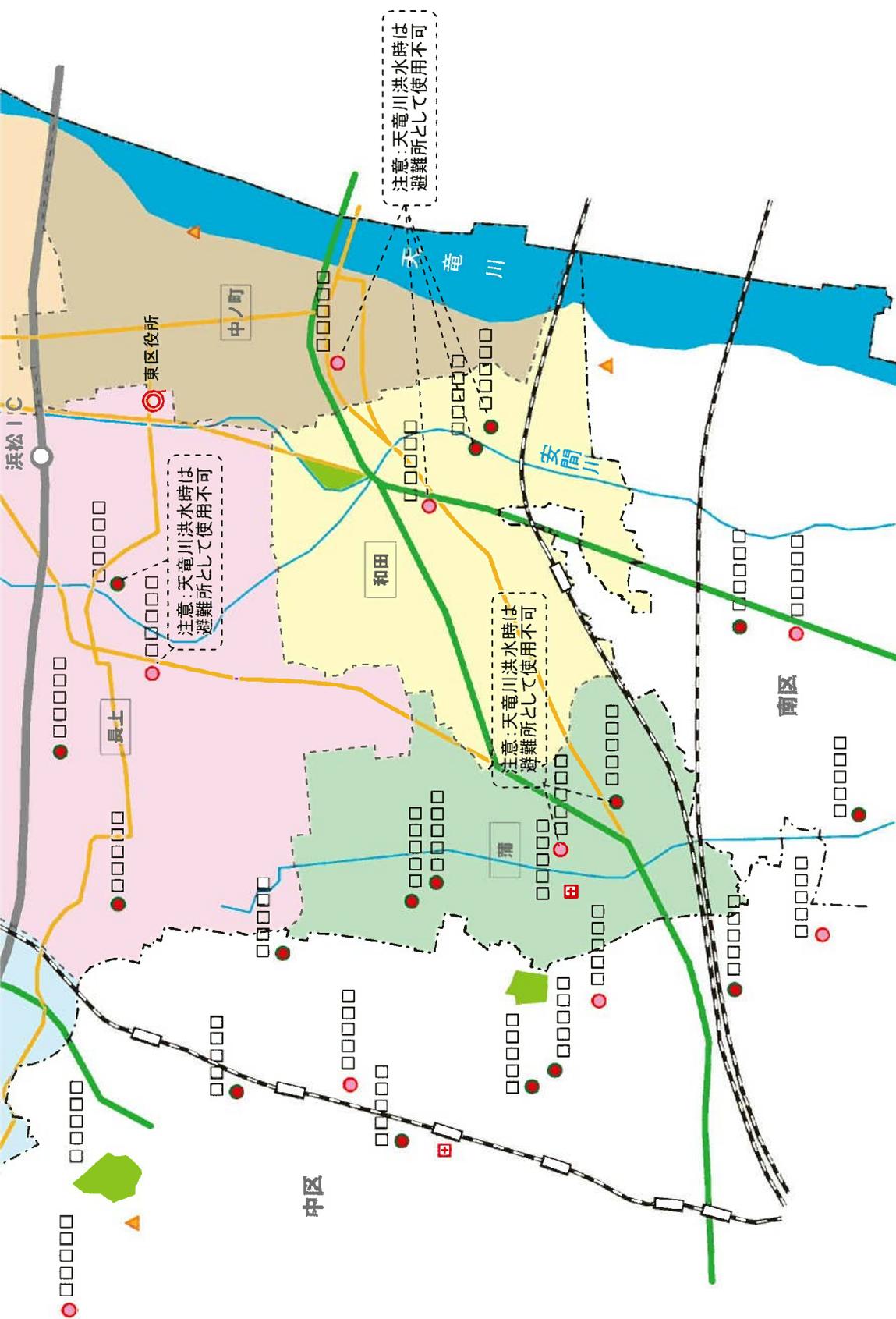
東区 防災施設マップ

注意!

地震と水害では避難所が異なります。

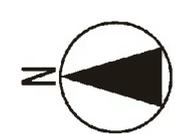
【用語の説明】
 避難地とは□□□□□□
 避難所とは□□□□□□
 応急救護所とは□□□□





凡 例

●	避難地・避難所
●	避難地・避難所・応急救護所
■	広域避難所
+	救護病院
▲	ヘリポート



手作り防災カード（裏面）

手作り防災カード（裏面）

手作り防災カード

手作り防災カード

（折込）防災カード

手作り防災カード

手作り防災カード

手作り防災カード

手作り防災カード

手作り防災カード

手作り防災カード

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

（折込）防災カード

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

防災マップ

(折込)

家の目立つ所に貼ってもらう

□非常用持ち出し品、家庭内備蓄品を準備した

非常持ち出し品はあまり多くの荷物をつめすぎると重たくて避難の支障になるので注意を！

非常持ち出し品

常備薬・救急セット

非常用食料

応急生活用品

非常備蓄品・災害復旧までの数日間分準備するもの

非常用食品・飲料

カセットコンロ

その他生活用品

高齢者や体の不自由な方がいる家庭

赤ちゃんがいる家庭

介護・看護用品・おむつ

粉ミルク・哺乳瓶・おむつ

こんなものがあると便利

発行元